

平成 3 0 年度事業計画

昨年度は、郷土が生んだ八田與一技師の 7 5 回目の墓前祭に参列し、その偉大な功績を偲ぶとともに、今後の公民館活動の活性化に資するため、台湾の文化にも触れて参りました。

また、秋に開催された第 3 9 回全国公民館研究集会、第 5 4 回東海北陸公民館大会（石川大会）には、市内 5 館の地区公民館を分科会会場とする新たな取り組みを行い、全ての公民館が力を合わせて成功させたところであります。

さらには、今冬には日本列島を大寒波が襲い、記録的な積雪となりましたが、その除雪を通して地域のコミュニティーが深まるなど、記憶に残る一年でありました。

さて、我が国は、少子高齢化が新たな局面に入り、現時点で既に高齢者の過半数が 7 5 歳以上を占める「超高齢化社会」へ突入しました。このことは一面、長寿社会を意味し、悲観することだけではありませんが、その一方で、人工知能など技術革新がすさまじく、私たちの地域の環境は様々な価値観が混在するという難しい局面に移りつつあります。

公民館連合会も 2 年後には創設 7 0 周年を迎えることとなります。この間、先人達の熱意と尽力により、金沢方式と呼ばれる独自の公民館運営がなされてきたところでありますが、地域の事情の違いから、このような社会環境の変遷に必ずしも適合できず、ともすればその綻びも散見されるようになって参りました。

とはいえ、公民館活動は、今後ますますその役割が高まっていくことと考えており、公民館を取り巻く諸課題の解決に向けて積極的に取り組み、地域創生・創造に向けた人づくり、町づくりに努めて行かなければなりません。ここに、すべての公民館関係者が相携えて下記のことに取り組んで行くことを誓い合うものであります。

記

1. 地区公民館相互の連携強化を図る。
2. (新) 公民館を取り巻く社会環境の変化に対応するための協議を行うため、市公連に「(仮称) 公民館関連諸問題検討ワーキングチーム」を設置する。
3. (改) 館長県外研修として、東京で行われる第 4 0 回全国公民館研究集会に全公民館長が出席する。
4. ホームページの充実を図るとともに、(新) 視聴覚教材資料の整理を行う。
5. 安全・安心のまちづくりの観点からも、常に防災意識を持ち、避難所の開設の訓練などを通して防災の実践を図る。
6. 各種団体との連携を深める。また、秋のツーデーウォークや第 4 回金沢マラソンの成功に向けて協力を図る。
7. 地域コミュニティーの活性化を中心に、役職員等の研修の充実と資質の向上を図る。
8. 都市間交流の推進に努める。

平成30年度 月別事業計画について

月	日	事業名
4	11	会計監査
	16	役員選考会、第1回理事会
	23	(市)館長会議、市公連総会
5	中旬	新任館長研修
	17	県公連定例理事会・総会(県青少年研修センター)
	30	県公連市町公民館長研修会(地場産業振興センター)
6	7~9	石川県公民館職員研修(本多の森ホール他)
7	上旬	公職連との懇談会
	下旬	町会連合会、校下婦人会との懇談会
8	下旬	市町公民館事務担当者会議(地場産業振興センター)
9		
10	4	第70回石川県公民館大会(輪島市)、県内研修(3, 4)を兼ねる
	28	(第4回金沢マラソン)
11	1, 2	第40回全国公民館研究集会東京大会(日本青年館)
	中旬	館長、主事合同研修会
12		
31年		
1	中旬	(市)新年館長懇談会
2	上旬	第15回高岡市公民館フェスタ
	17	第56回金沢市公民館大会・公民館フェア「楽集」
3		

■理事会の開催(予定)

4月16日、6月上旬、7月中旬、9月下旬、11月下旬、1月中旬、3月中旬
(但し、必要に応じて開催する。)

■専門委員会の開催

- ・(新規)「(仮称)公民館関連諸問題検討ワーキングチーム」の設置

■その他

- ・視聴覚広報委員会及び文化部協議会への活動支援
- ・金沢市各種団体事業への参画と支援